

# 「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられました！



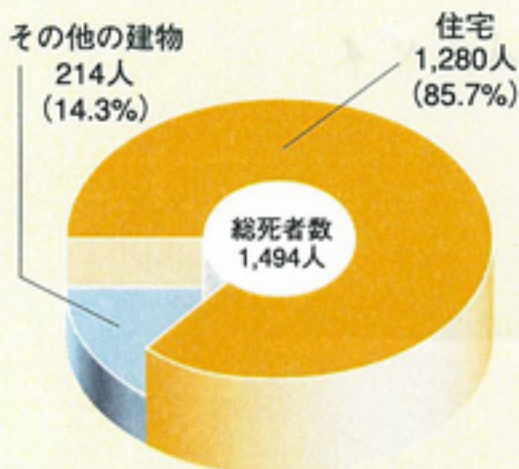
火災において死亡に至った原因の約7割は「逃げ遅れ」によるものです。

## 住宅用火災警報器があるか、ないかで大きくちがう

### なぜ、設置する必要があるの？

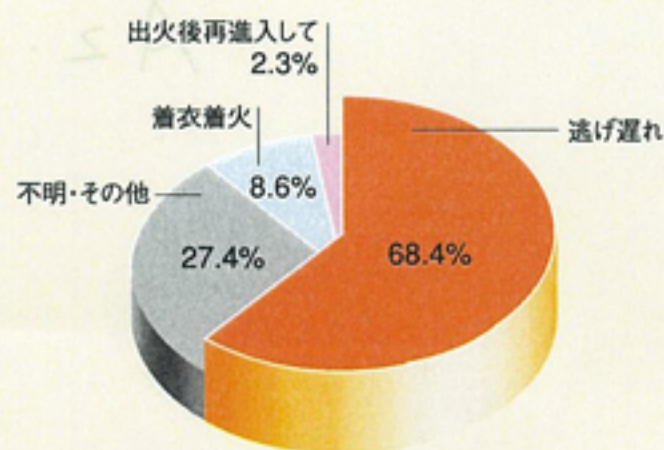
建物火災による死者の9割近くは住宅からの火災によるものです（表1）。その住宅火災によって亡くなる人の数は、全体として増える傾向にあり、中でも高齢者の割合が増えています。更に、住宅火災によって亡くなった人の状況を見ると、およそ7割の人が、逃げ遅れたことによって、命を落としているのです（表2）。

つまり、少しでも早く火災の発生に気付いていれば、多くの人があつた可能性があるわけで、そのために住宅用火災警報器の設置が必要なのです。



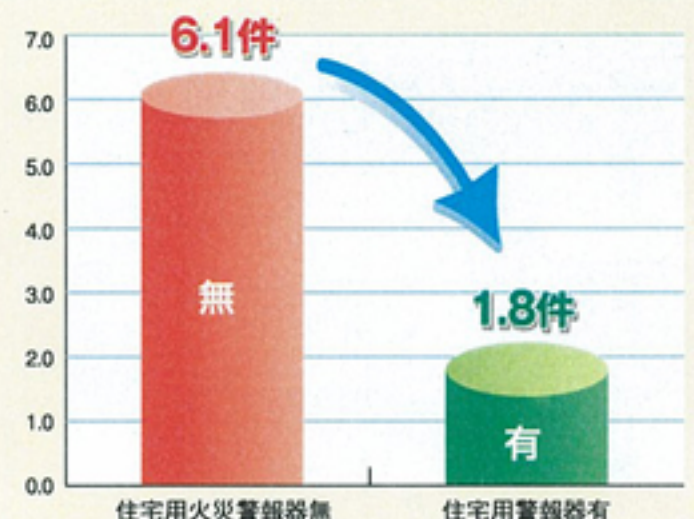
建物火災の死者区分（表1）

（平成16年版 消防白書）



住宅火災の経過別死者発生率（表2）

（平成16年版 消防白書）



住宅用火災警報器設置の有無による火災100件当たりの死者発生率の比較

（消防庁 平成14年）